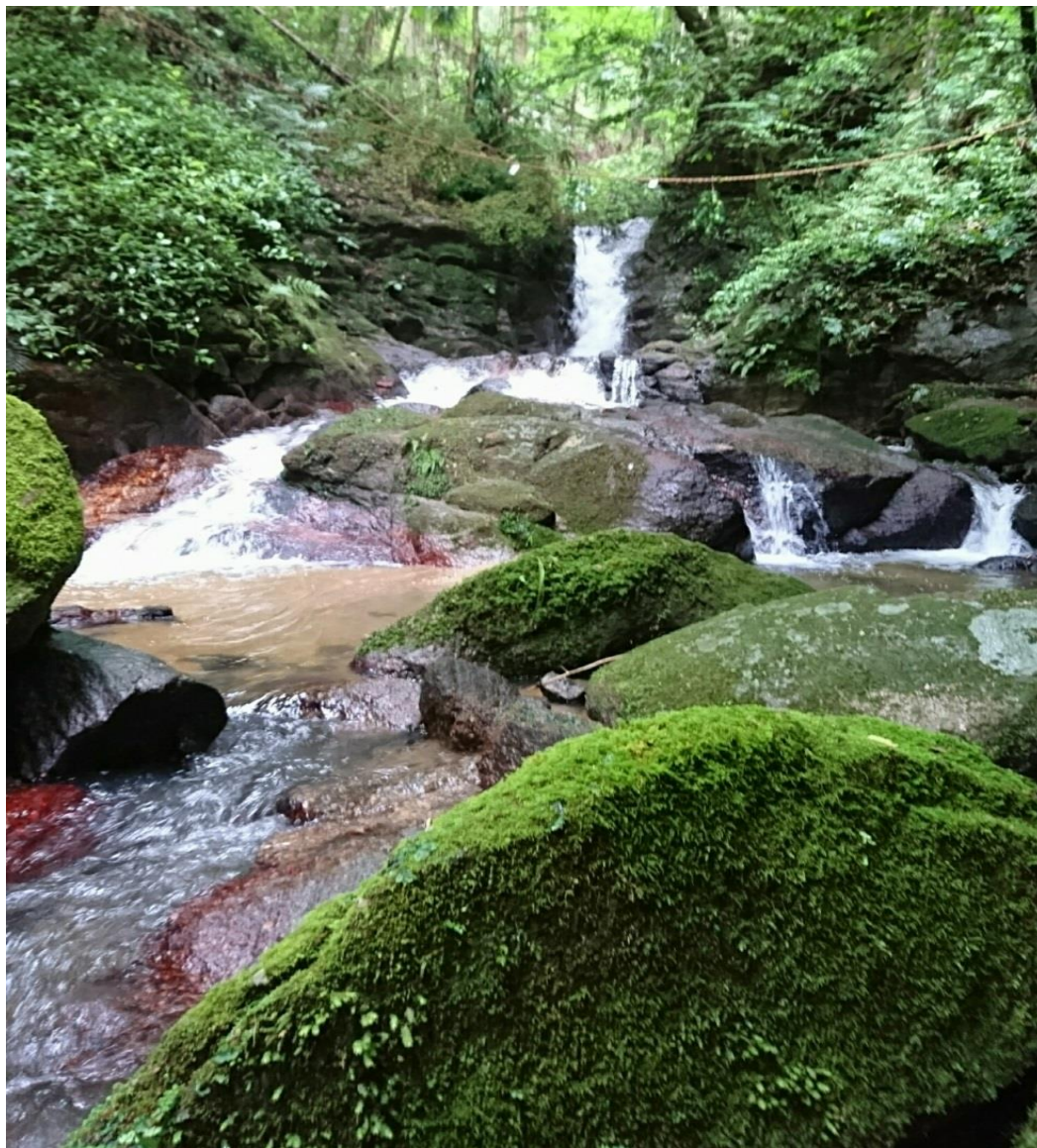


株式会社 武田環境 エコアクション21 環 境 経 営 レ ポ ー ト

(対象期間: 令和5年4月～令和6年3月)



令和6年6月1日作成

目次

1 組織の概要-----	1～3
2 環境経営方針-----	4
3 環境経営目標-----	5
4 環境経営計画-----	6
5 環境経営計画の取組結果-----	7
6 環境関連法令順守状況-----	8
7 代表者による全体評価と見直し・指示-----	8
8 地域貢献活動-----	9

1 組織の概要

(1) 名称及び代表者

株式会社 武田環境
代表取締役 武田 年弘

(2) 所在地及び敷地面積

本社 奈良県奈良市八条3丁目737番地の1 1,125㎡
奈良市事業所 奈良県奈良市八条1丁目793番地の1 140㎡
大和郡山市事業所 奈良県大和郡山市北郡山町158-6大和ビル402号 20㎡(床面積)
生駒市事業所 奈良県生駒市北田原町1548-1 10㎡(床面積)

(3) 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者:石井郁弥
環境事務局:石井郁弥
担当者連絡先:0742-63-2552

(4) 法人設立

平成19年8月6日

(5) 事業の規模

資本金 5,000千円
売上高 6,500万円(令和5年度)

(6) 事業内容

特別管理産業廃棄物収集運搬・産業廃棄物収集運搬
一般廃棄物収集運搬

(7) 事業年度

4月～翌年3月

(8) 受託収集運搬量(令和5年度)

特別管理産業廃棄物 5,242t
産業廃棄物(廃プラ) 341t
事業系一般廃棄物 714t
家庭系一般廃棄物 13,442t 合計19,739t

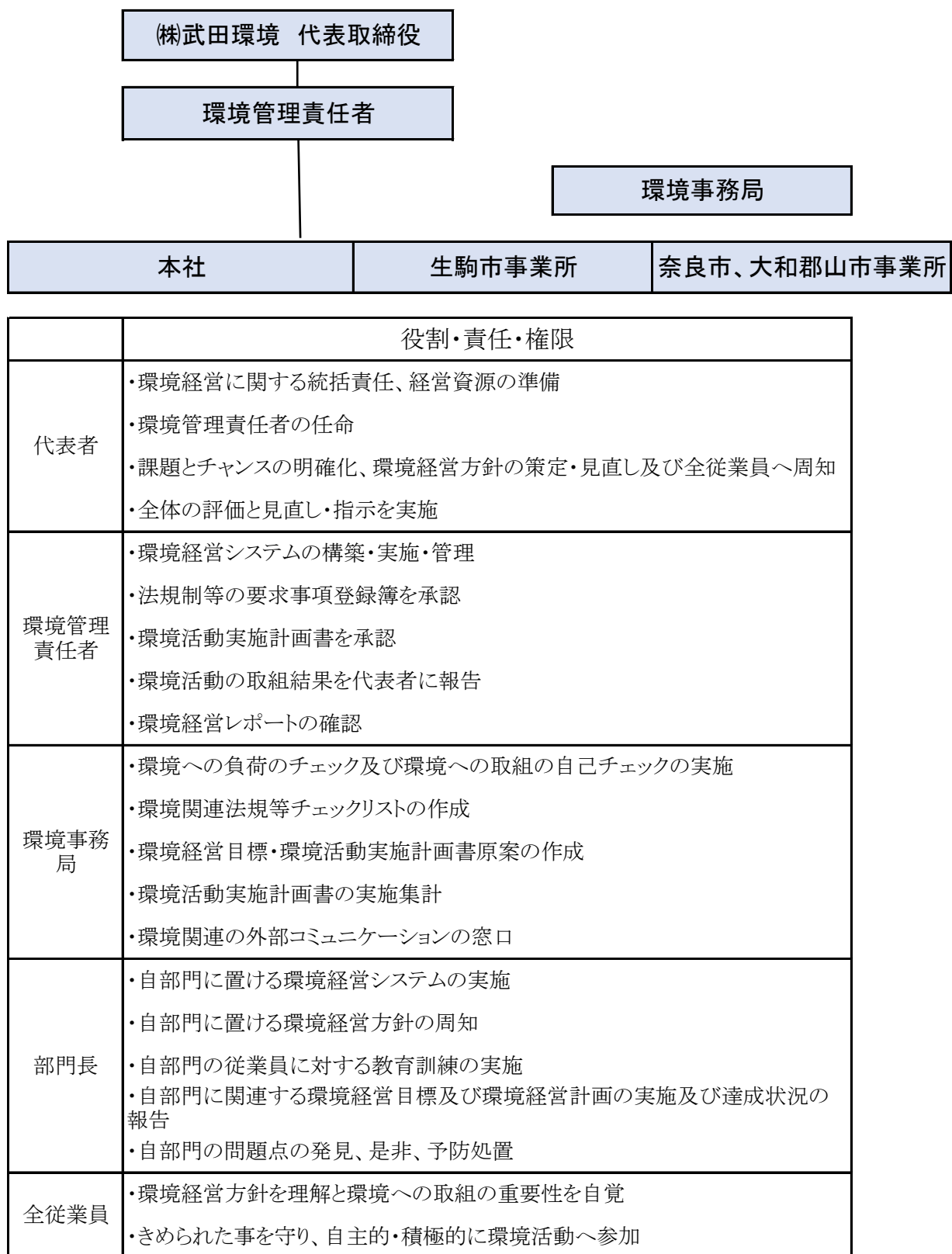
保有車両一覧		
種類	タイプ	台数
塵芥車	パッカー	19
保冷車	コンテナ	5
ダンプトラック		1
コンテナ車		1
営業車	バン	2
	軽自動車	1
	乗用車	1

(9) 従業員数:38名 本社:37名 生駒市事業所:1名 大和郡山市事業所:常駐者なし 奈良市事業所:常駐者なし

(10) 認証登録の対象範囲

全組織・全活動

(11) 組織図



(12)廃棄物処理業許可一覧(R6. 6. 1現在)

産業廃棄物収集運搬業(積み替え保管を含まない)

許可府県	奈良県	三重県	大阪府	京都府
許可番号	2901162468	2400162468	2700162468	2600162468
許可年月日	R3.12.2	R3.12.20	R4.5.1	R6.5.28
許可の有効期限	R8.12.1	R8.10.24	R9.4.30	R11.2.27
燃えがら	●	●	●	
汚泥	●	●	●	
廃油	●	●	●	
廃酸	●	●	●	
廃アルカリ	●	●	●	
廃プラスチック	●	●	●	●
紙くず	●	●	●	●
木くず	●	●	●	●
繊維くず	●	●	●	●
動植物性残さ	●	●	●	
ゴムくず	●	●	●	●
金属くず	●	●	●	●
ガラス陶磁器くず	●	●	●	●
鋳さい				
がれき類	●	●	●	●

特別管理産業廃棄物収集運搬業(積み替え保管を含まない)

許可府県	奈良県	三重県	大阪府	京都府
許可番号	2951162468	2450162468	2750162468	2650162468
許可年月日	R3.12.2	R3.12.20	R4.5.1	R2.8.31
許可の有効期限	R8.12.1	R8.10.24	R9.4.30	R7.8.30
引火性廃油	●	●	●	●
感染性廃棄物	●	●	●	●
汚泥(有害)	●	●	●	
廃酸(有害)	●	●	●	●
廃アルカリ	●	●	●	●

一般廃棄物収集運搬業

許可市	許可番号	許可年月日	許可の有効期限
奈良県奈良市	第53号	R5.7.4	R7.7.3
奈良県大和郡山市	第27-9号	R5.4.1	R7.3.31

2 環境経営方針

基本理念

医療関係機関の院内周辺業務及び特別管理産業廃棄物・産業廃棄物収集運搬及び一般廃棄物の収集運搬業を行っています。

会社の理念として、環境基本法をはじめ環境保全への取組みを行い、奈良県内を主として地域密着型の企業として共生できる快適な生活環境の保全に努めることを念頭におき各業務の遂行に当たっております。

行動指針

特別管理産業廃棄物・産業廃棄物・一般廃棄物の収集運搬業にあたり以下8項目の行動指針を順守して環境経営の継続的改善を行い、社員全員が取り組んでおります。

- 1 二酸化炭素の排出を削減します。
エコドライブを実施し社用車等の燃料使用量の抑制を行います。
節電を励行し低電力消費の環境づくりを目指します。
- 2 廃棄物排出量の削減を行います。
廃棄物排出を抑制すると伴にリサイクルを推進します。
- 3 水使用量の削減を行います。
水使用量を削減します。
- 4 環境に優しい商品を購入し使用します。
- 5 環境基本法等の環境関連法規を遵守します。
- 6 地域社会と良好な環境コミュニケーションを図り、地域の環境保全に努めます。
- 7 この環境経営方針は、全従業員に周知するとともに、研修や教育を行い環境保全に向けた意識の向上に努めます。
- 8 トラブル時での対応を準備します。

改定日: 令和5年4月1日

株式会社 武田環境

代表取締役 武 田 年 弘

3 環境経営目標と実績

(1)各年度環境経営目標(令和3年度～令和7年度)

項目	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		基準年	-1%	-2%	-3%	-4%
二酸化炭素排出量	kg-CO2	19,958	19,758	19,559	19,360	19,160
電力	kWh	40,137	39,736	39,334	38,933	38,532
ガソリン	L	2,520	2,495	2,470	2,444	2,419
軽油	L	79,227	78,435	77,642	76,850	76,058
	L/t	9	9	9	9	9
廃棄物排出量(自社)	kg	1,260	1,247	1,235	1,222	1,210
水使用量	m3	1,476	1,461	1,446	1,432	1,417
製品及びサービス	—	取り漏れゼロ				

令和3年度から社員が大幅に増えたことにより、令和3年度実績を新たな基準値として目標設定しています。

■灯油・都市ガス・化学物質の使用無し

■CO2排出係数

電気：関西電力(株)R2年度
調整後排出係数
(kg-CO2/kWh)

電気	ガソリン	軽油
0.351	2.32	2.58

ガソリン、軽油
kg-CO2/L

(2)令和5年度の実績と評価

項目	単位	R5年度			
		目標	実績	対目標(%)	評価
二酸化炭素排出量	kg-CO2	219,853	286,458	30%	×
電力	kWh	39,334	34,221	-13%	○
ガソリン	L	2,470	1,968	-20%	○
軽油	L	77,642	104,605	35%	×
	L/t	9	5	-41%	○
廃棄物排出量(自社)	kg	1,235	1,272	3%	×
水使用量	m3	1,446	692	-52%	○
製品及びサービス	件	取り漏れゼロ	2	—	○

・対目標(%)：「+」は目標超過

・令和5年度の実績は、電力以外はすべて本社での使用状況である。

・電力の削減要因は、生駒市衛生社と共同使用していた生駒市事業所から仮設事務所の本社に多数の社員が異動したことによる。

・取り漏れゼロ：10件以上＝× 5件～9件＝△ 4件以下＝○

4 令和5年度の環境経営計画

1. 二酸化炭素排出量の削減

①電気使用量の削減

- ・エアコンの設定温度を決め、省エネ運転。
- ・エアコンのフィルターを定期的に清掃。
- ・照明の適正管理と器具の清掃。
- ・パソコンやプリンターの節電設定。

②軽油及びガソリン使用量の削減

- ・エコドライブの実施。
- ・タイヤ空気圧やエアクリーナの清掃。

2. 自社廃棄物排出量の現状把握と削減

- ・プラスチック 紙ごみ等の分別徹底。

3. 総排水量の削減

- ・水道使用量の集計と削減
- ・車両洗車時の使用量削減。
- ・事務所の使用量削減。

4. グリーン購入の推進

- ・グリーン商品の購入を進める。

5. サービスに関する事項

①積載効率向上

- ・毎年積載量の把握を行い作業効率・環境負荷の軽減に努める。
- ・依頼者の費用軽減を目的におき運行ルートの見直しなども行う。

②顧客満足度向上

- ・収集漏れを無くす
- ・クレーム数の削減

6. 地域社会への環境活動

- ・奈良公園の清掃及び本社周辺の河川の清掃活動の実施を継続する事により佐保川の水源地域を保全する。

7. 安全講習

- ・新入社員雇い入れ時に、車両の取り扱い・構造説明又は運転基本動作などの安全教育を行う

8. 緊急時の対応

- ・顧客からのクレーム連絡・回収漏れ・車両事故などの緊急時は、環境管理責任者へ連絡を入れて責任者の指示により緊急時の対応を行う

5 環境活動の取組み結果と次年度の取り組み内容

令和5年度の取組結果の評価は以下のとおり

目的	評価に対するコメント	次年度の取り組み内容
二酸化炭素排出量	二酸化炭素発生要因のすべてについての取組は下記のとおり	今後も引き続き環境負荷を掛けないように努める
電力	昨年度を、新たな基準として節電を試み るとしていたが節電出来ていた	引き続き節電に努める
ガソリン	昨年度通り、減少には至らなかったが同 じ水準値を保つことが出来た	常にエコドライブを心掛ける
軽油	今年度から原単位での基準を新たに試み る	引き続き取り組みを継続する
廃棄物排出量	分別を徹底していたが、収集地域が拡大 し数値が上がった	引き続き分別を徹底する
水使用量	昨年度より大幅に減少することが出来た	引き続き節水に努める

サービスに関する事項

積載効率向上	積載量の把握と作業効率の向上が概ね できていたが、収集地域が増え数字が増 加した	無駄のない積載を維持する
顧客満足度向上	取り漏れゼロ達成できず	引き続き苦情の無いように実施 する

地域社会への環境活動

周辺清掃	周辺道路、川の清掃活動を実施した 奈良マラソンで排出されるゴミの収集運搬の実施	今後も定期的 to 実施する
安全講習	運転者を対象に講習を実施した	引き続き定期的 to 実施する
緊急時の対応	マニュアルに基づいた訓練を実施した	今後も定期的 to 実施する

6 環境関連法規等の順守状況の確認

下記の内容を適切に遵守しています。

(1) 運用となる主な環境関連法規

法規・条例・規制	適用内容	運用状況	順守評価
			(令和6年1月)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・特別管理産業廃棄物 収集運搬	・マニフェストの発行	○
		・適切な収集運搬	○
	・産業廃棄物収集運搬	・奈良県への定期的な報告	○
		・顧客との契約書	○
	・一般廃棄物収集運搬	・契約 ・実績報告	○
騒音規制法	・規制基準遵守	・規制基準遵守	○
振動規制法	・規制基準遵守	・規制基準遵守	○
フロン排出抑制法	・フロン排出の防止	・事業用エアコンの適正点検	○
道路交通法	・法規制遵守	・安全走行の順守	○

(2) 違反、訴訟等の有無

関連機関からの指摘、利害関係者からの訴訟、住民からの苦情などは過去3年間ありませんでした。

7 代表者による全体の評価と見直し・指示

令和6年4月1日実施

今年度から奈良市の委託収集運搬が増えたことに伴い、軽油使用量が大幅に増加した。

令和3年度実績を基準として見直しをしたが、新たな基準値の設定も視野に取組継続を実施する。

また、軽油については新たな指標として収集運搬量当たりの使用量を原単位として設定したが、原単位は達成できている。

社員意識は認証取得後7年を経過し、高くなってきていると評価できる。

なお、環境経営方針、環境経営目標、経営計画、実施体制は当面このまま継続する。

8 地域貢献活動

◆ 地域貢献活動への自主的な取り組み

活動内容 奈良市内におけるゴミ拾いの実施

活動日時 2023年3月19日(日) AM7:30～AM8:30

活動場所 近鉄奈良駅周辺

活動人数 武田環境 一般収集課 8名

地域住民の方 約15名



活動内容 奈良マラソンの収集運搬

活動日時 2023年12月10日(日) AM10:00～AM15:30

活動場所 奈良市天理市のマラソンルート

活動人数 武田環境 事業課 4名

